



S REPORT サステナブルレポート No.95

本質から環境に 良い国を目指して

廃棄物

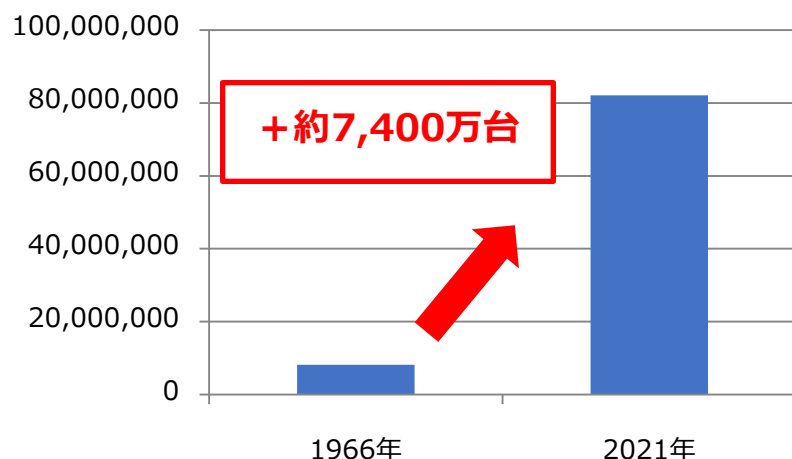
環境サービス

生活手段として車は大切だが、温室効果ガス発生への影響は大きい Satisfactory

■自動車による二酸化炭素排出量の現状

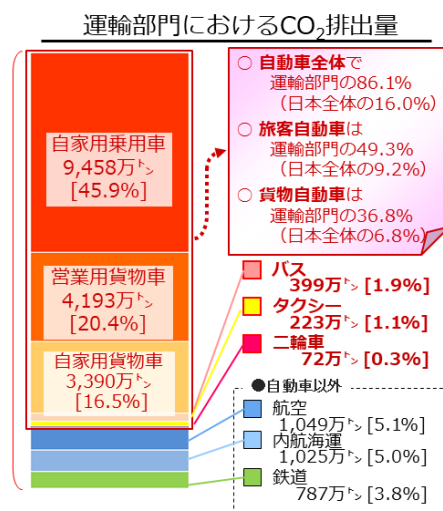
- 国内の自動車保有台数は82,523,814台（2021年2月末）であり、55年間で約7,400万台増加している
- 2019年度の日本の運輸部門からの二酸化炭素排出量は2億600万t、その内自家乗用車からの排出量は45.9%
- 2030年度の運輸部門での排出量目安である1億6,300万t達成に向け、4,300万t削減しなくてはならない

■国内の自動車保有台数の変化



出典：一般財団法人 自動車検査登録情報協会「自動車保有台数の推移」
をもとに筆者作成 ※P.3参照

■運輸部門におけるエネルギー起源二酸化炭素排出量

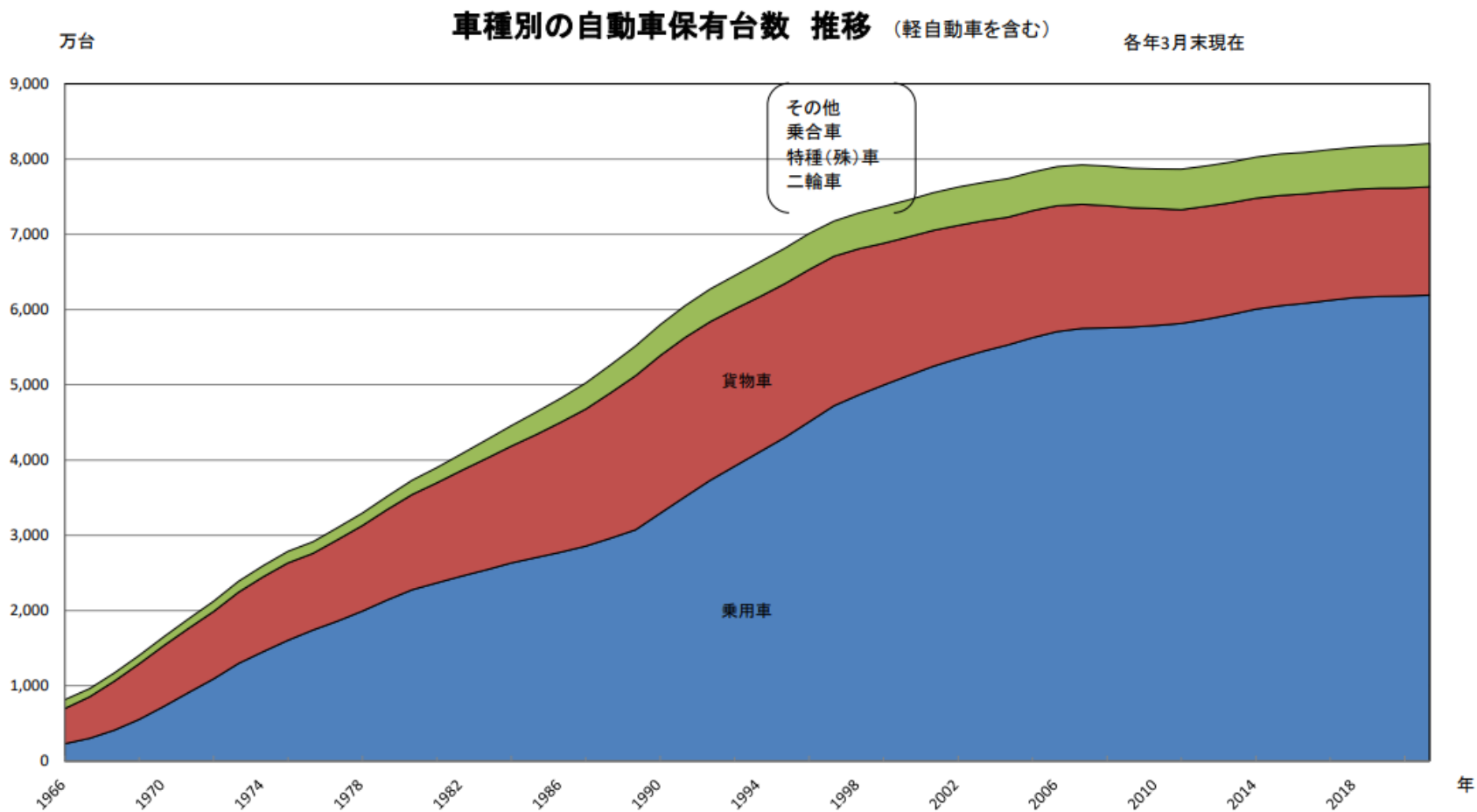


日本の温室効果ガスの9割はエネルギー起源二酸化炭素である。2030年度の運輸部門での排出量目安は163百万tであり、2019年度は206百万tであった。日本の約束草案達成に目掛けて、運輸部門における環境対策を行う必要がある。

出典：国土交通省

便利な移動手段が車だけという概念を変える

■ 自動車保有台数の推移



出典：一般財団法人 自動車検査登録情報協会

■ 充実した自転車インフラに注目

- 自転車専用道路は現在全長35,000kmに及び、国内巨大ネットワークとして構築され始めている
- 安全を守るため、自転車専用の標識ルールがある
- 世界初、自転車優先の円形交差点（Roundabout）が造られた

■ 豊富な自転車専用の標識



出典：BICYCLE DUTCH

■ 世界初の自転車ロータリー、Roundabout



出典：livedoorNEWS

更に楽しく、現代的に自転車を使う為には

■ 変わりゆく時代に適応する自転車ライフ

- 駐輪場は無料が当然、ユトレヒトには**世界最大駐輪場設立**（約1万2,500台収納）
- 自転車で通勤する人々が**赤信号に捕まらないよう事前に適した走行速度を電子標識で知らせ**、自転車通勤をする人々のストレスを軽減するマシンが開発されている
- 大量のゴミが道に生まれ変わった、「**プラスチックゴミ自転車道**」が誕生

■ オランダ発のマシン「Flo」



出典：ハーチ株式会社

■ リサイクルプラスチックでできた「Plastic Road」



ズヴォレ市に世界初、全長30mのPlastic Roadが誕生。21万8千個のプラスチックカップと50万個のペットボトルの蓋からできている。

出典：Plastic Road

オランダと日本の手法には違いがある

■ 日本とオランダの環境対策方法の違い

- オランダでは規制するわけではなく、**環境を整えることで行動を促している**
- 日本では法律等、**政府から規制が掛かる**ことが多い（例：レジ袋の有料化・課税制度）
- 何かを使用することを止めるだけでなく、**別の行動を提示することが日本の課題**

■ オランダから学ぶ、日本の課題とは



環境対策はストレスフリーで人々が進んで実行できる体制が整っていることが理想だ。

現状、日本の取り組みは規制が多く、結果論で片付けられているようなイメージだ。人々の生活に関わる点という点では、正しい判断なのか疑問を感じてならない。

例えば、レジ袋の有料化やプラスチック製品に対する課税、これまで当たり前にあったものが突然規制されると、意識的に代替品への使いづらさが目立ち、逆に規制されるとその便利さ等、魅力が増してしまうのではないかと懸念している。

各国、手法は様々あるが真の「持続可能な」取り組みというのは、不自然ではなく、当然だと考える上で行動できる仕組みをつくることではないかと考える。

日本を持続可能な美しい社会に！

参照・引用資料

- 一般財団法人 自動車検査登録情報協会, 「自動車保有台数の推移」, 2021年3月31日 (<https://www.airia.or.jp/publish/file/r5c6pv000000u79o-att/r5c6pv000000u7a3.pdf>)
- 国土交通省, 「運輸部門における二酸化炭素排出量」, 2021年4月27日 (https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/environment/sosei_environment_tk_000007.html)
- 環境省 経済産業省, 「日本の約束草案要綱」 (<https://www.kantei.go.jp/jp/singi/ondanka/kaisai/dai29/siryou1-3.pdf>)
- Fietzersbond, 「Hoeveel kilometer fietspad is er in Nederland?」, 2013年1月23日 (<https://www.fietzersbond.nl/nieuws/bijna-35-000-km-fietspad-in-nederland/>)
- livedoorNEWS, 「これは走ってみたい…オランダにある世界初の自転車ロータリー「ラウンドアバウト」が美しすぎる」, 2013年10月27日 (<https://news.livedoor.com/article/detail/8196113/>)
- BICYCLE DUTCH, 「注意・優先を表す標識」, 2017年2月9日 (<https://bicycledutch.wordpress.com/>)
- ハーチ株式会社, 「【まとめ】都市の交通問題を解決するユニークなアイデア10選」, 2017年12月31日 (https://ideasforgood.jp/2017/12/31/transportation_2017/)
- Plastic Road, 「Opening 1st PlasticRoad bike path in the world」, 2018年11月9日 (<https://plasticroad.com/en/opening-1st-plasticroad-bike-path-in-the-world/>)

サステナブルレポートに関するお問い合わせ先：

SREPORT 編集部 ☎ 03-5542-5300 ✉ info@sfinter.com

- 本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。
- 本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。
- 本レポートの配信に関して閲覧した方が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失 利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。
- 本レポートに関する知的所有権は株式会社サティスファクトリーに帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

Satisfactory



全従業員で
毎週更新中

<https://www.sfinter.com/report/>